

# 平成29年度第9回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 平成29年9月15日（金） 13：14～15：15
- 2 場 所 4号館1階本部員会議室
- 3 出席者 <教育委員会>  
雪村教育長 山本委員 伊東委員 福田委員 今井委員  
<事務局>  
浜本総務部長 大谷学校教育部長 日下社会教育部長  
後藤教育施策推進担当部長
- 4 欠席者 梶木委員
- 5 傍聴者 1名
- 6 会議内容

（雪村教育長）

それでは、ただいまより教育委員会会議を始めます。

本日は、議案2件、協議事項1件及び報告事項7件です。

このうち、報告事項3及び報告事項4については、教育委員会会議規則第10条第1項第2号により職員の人事に関する事。教第36号議案、協議事項6、報告事項1、報告事項2、報告事項5及び報告事項6については同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして、非公開としたいと思いますが、賛同いただけますでしょうか。

（5名の賛成により非公開案件を決定）

（雪村教育長）

それでは、教第35号議案、神戸市就学援助規則の一部を改正するにあたり意見公募を実施する件について、学校経営支援課よりお願いします。

**教第35号議案** 神戸市就学援助規則の一部を改正するにあたり、意見公募を実施する件

（竹森学校経営支援課長）

資料を1枚おめくりいただき、神戸市就学援助規則の一部を改正する規則（案）の概要をごらんください。

1、改正の理由です。現在の神戸市就学援助規則では、対象者を学齢児童生徒に限定し

ています。どういうことかと言うと、小中学校に通われている児童生徒に限定しているということです。ただ、6月の教育委員会会議でも説明させていただきましたが、この本文2行目のとおり、平成30年度入学者より新入学児童生徒学用品費を入学前に支給する方向で現在事務的な準備を進めているところです。そういったことから、この規則に小学校入学前の「就学予定者」を対象として加えたいと考えています。

2の改正の概要ですが、①就学予定者が加わることから、条文の中に就学予定者に関する規定を加えます。それから②として、手続の部分について所要の整理を行います。あと、③として、この新入学児童生徒学用品費の定義について、こちらも所要の整理を行いたいと考えています。

表紙に戻っていただき、下の3、意見提出の期間ですが、平成29年9月21日から10月20日までの1カ月間を予定しています。こちらは、規則改正に伴う所要の手続です。

私からの説明は以上です。

(雪村教育長)

教第35号議案のパブコメを実施する件について、いかがでしょうか。

(今井委員)

この内容はこれでいいのですが、何分新しく始まることですよね。細かいルールづくりは今かなり詰めていっているところですか。

(竹森学校経営支援課長)

はい、やっています。

(今井委員)

実際の周知については、今後どんなスケジュールですか。

(竹森学校経営支援課長)

一般の市民の方への周知として、広報紙K O B Eの10月号に掲載する予定です。

実際の対象になられる方については、小学校に入学される前、11月に就学前健診がありますので、そのときに案内と申請書をお配りする予定にしています。

(福田委員)

予定者がどのぐらいおられるかは、シミュレーションできていますか。

(竹森学校経営支援課長)

例年どおりでいきますと、小学校で大体1,700人ぐらいの方が対象になると思います。

中学校では2,100人ぐらいになる見込みです。

(今井委員)

就学予定者の方の申請の窓口はどこですか。

(竹森学校経営支援課長)

学校経営支援課で直接受け付けたいと思っています。

(山本委員)

恐らく小から中へ上がるほうは網羅できるかなと思いますが、小学校へ入学してくる子供ですね。就学前健診を行っても、なかなかそこで確実にというのは難しいと思います。学校によっても違うので、そのあたり漏れがないように御注意いただけたらありがたいです。

(雪村教育長)

周知を尽くして申請がなかったら、1年生の所定の時期に払えるようにするのですね。

(竹森学校経営支援課長)

1年生が入学された後、改めて就学援助の申請を受け付けます。そこで改めて認定された方で、入学前の準備金を支給されていない方はそこでもう一度すくえるようにします。

(雪村教育長)

新制度なので、できるだけ就学前に周知してPRすることは大事でしょうね。  
ほか特によろしいですか。

(5名の賛成により可決)

(雪村教育長)

それでは、これは改正規則の施行予定日は11月1日ということですから、もう一回規則改正の議案が教育委員会会議にかかるということですね。

(竹森学校経営支援課長)

はい。もう一度かけます。

(雪村教育長)

はい、わかりました。

続いて、報告事項 7、平成29年 9 月文教子ども委員会の報告についてお願いします。

## **報告事項 7** 平成29年 9 月文教子ども委員会の報告について

(豊永総務課長)

9 月 1 日の文教子ども委員会の内容について御報告します。事前にお送りしていますので、表紙に基づいて概要を御説明します。

まず(1)ですが、平成28年度神戸市各会計予算繰り越しについての報告に関連して質問がありました。学校施設のエレベーター設置についてということで、民進こうべの川内委員から何機分繰り越しするのか、その理由はという御質問でした。

(2)平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価についての報告です。1つ目、美術館の外部評価について、日本維新の会の山本委員から御質問がありました。博物館では外部評価を行っているけれども、小磯記念美術館、神戸ゆかりの美術館についても同様に行うべきではないかという御質問です。それから、新社会党の小林委員から、点検評価の中にいじめの第三者委員会の件や、重大事態のことが記載されていないのはなぜかという御質問でした。それから、学校への適正規模化について、日本共産党の味口委員から、小規模化への対応は書かれているけれども、大規模校への対応が記載されていないのはなぜかという御質問です。それから、ニュータウンにおける小規模校について、日本共産党の山本委員からどのような取り組みを行ったのかという御質問でした。

(3)市債権の放棄については、質疑はありませんでした。

(4)その他所管事項について、まず高校生の海外留学プログラムについて、自由民主党のしらくに副委員長、また、民進こうべの平木委員から、制度の概要や予算、県立高校生への拡充についての御質問がありました。それから2つ目が、自由民主党の安井委員から、賀川豊彦、平生鈇三郎、嘉納治五郎について教育の中でどのように扱われているのかという御質問。それから、自由民主党の安井委員から、神戸市外国語大学の国連模擬大会について、教育委員会も積極的に協力すべきではないかという御質問。それからこちらも自由民主党の安井委員から、東灘区の小学校教員の不祥事について、保護者へのケアをしっかりと行ってほしいという御質問です。続いて、新社会党の小林委員から、子宮頸がんワクチン接種について、児童生徒の接種人数の御質問がありました。当日、手元に資料を持っていなかったのでお答えはできていませんが、後日回答しています。ちなみに申し上げますと、対象が小学校 6 年生から高校 1 年生の女子となっており、平成25年度が317人、平成26年度が26人、平成27年度が30人、平成28年度が21人ということで、平成25年 6 月から国より積極的勧奨の見合わせがありましたので、それ以降大きく減っているという状況です。これは御質問いただいた小林委員にも報告しています。それから、新社会党の小林委員から、非正規教員の給与について、一定の年齢以上になると上限になってしまうという新聞報道がありましたが、神戸市の状況はという御質問でした。それから、新社会党の小

林委員から、垂水区の中学校における事案について、第三者委員会の設置を公表していなかった理由について等の御質問がありました。それから、日本共産党の山本委員から、小学校給食調理等業務の民間委託の目的等についての御質問です。それから、日本共産党の味口委員から、中学校給食におけるレトルトカレーの栄養についてという御質問がありました。

報告については以上です。

(雪村教育長)

これについて御質問等ありませんか。

(伊東委員)

給食のことが聞かれていますね。今、神奈川県の方でデリバリーの中学校給食が問題になっています。報道を聞いていると給食法に基づいてという視点が十分欠けていて、冷えているとか味つけのほうに議論がいつています。神戸の場合は定められた栄養がしっかりとれていて、そのために塩分がこうなっているということを示せるようにしてほしいと思います。我々は聞いていますけれども、必ず同じ問題が出てこようかと思しますので、担当の方によろしくお伝えください。

(豊永総務課長)

はい、わかりました。

(雪村教育長)

ほか、特によろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

それでは、引き続き主要行事の報告と予定についてお願いします。

## **その他報告事項** 主要行事の報告と予定

(豊永総務課長)

主要行事の報告と予定ですが、8月21日以降の主要行事は記載のとおりです。今後の主要行事予定ですが、本日15日金曜日から10月21日土曜日まで市立学校園運動会・体育会・体育大会となっています。

それから、教育委員会会議日程ですが、9月25日月曜日13時45分から定例会を予定して

います。

以上です。

(雪村教育長)

何か確認されたいことやつけ加えられることはありませんか。

(伊東委員)

運動会は、台風が来たらどうすることになっていますか。

(豊永総務課長)

きょうの段階で順延を決めている学校もありますし、あしたの7時ぐらいに決定してホームページに掲載することを考えている学校もあるようです。

(伊東委員)

組体操をされるところがありますが、足場や風など、そのあたりはどうですか。

(豊永総務課長)

そうですね。十分注意します。

(今井委員)

多忙化のアンケート結果が出そろっていると思います。きょうの議題にはありませんが、あの内容を整理してどう取り組んでいくかということについて、今後どういうスケジュールになっていますか。

(浜本総務部長)

済みません。かなり意見をいただいています、今、集計中です。申しわけありませんが、もうしばらくお時間をいただきたいと思います。

(雪村教育長)

整理して検証して、来年の予算に重点的に要求するものの仕分けをしていかないといけませんね。

(今井委員)

そうですね。予算がなくてもできることは、とにかく1つでも対応していくという姿勢でぜひお願いしたいと思います。

(雪村教育長)

ほかよろしいですか。

今、委員からも御意見がありました。そのほか、教育委員の皆さんから教育委員会会議で取り上げるべき項目について、御意見はありませんか。

何かございましたら、また、後日でも結構ですので、事務局までお伝えいただいたらと思います。

それでは、ここで公開案件については終了しましたので、傍聴者の方は恐縮ですが御退席ください。

(傍聴者 退席)

(雪村教育長)

それでは、ここから非公開案件に入ります。

それでは、教第36号議案、神戸市立幼稚園園則の一部を改正する規則の件について、学校経営支援課よりお願いします。

### **教第36号議案** 神戸市立幼稚園園則の一部を改正する規則の件

(竹森学校経営支援課長)

資料2枚おめくりいただくと、参考資料として規則改正の理由という資料をつけています。この幼稚園園則の改正ですけれども、資料に書いていますように、住吉幼稚園、清風幼稚園、それから名谷こすもす幼稚園は平成30年度末に閉園が予定されています。これに伴い、通園区域を定める表がこの園則に載っていますので、こちらの表を改正する必要があるということです。

それから、2行目の「また」以降ですけれども、平成27年度から、子ども子育て支援新制度が施行されています。もともと神戸市立幼稚園は入園料を取っていたわけですけれども、この制度が施行されてから、入園料は利用者負担額、いわゆる保育料に含まれています。申しわけないのですが、これは規則の修正漏れです。このたび、今回の規則改正にあわせて、こちらの整理をさせていただきたいと考えています。

私からの説明は以上です。

(雪村教育長)

この議案について、いかがでしょうか。

(山本委員)

今の議案に関連することかもしれませんが、最後の参考の表に載っているように、今後

4年間で9園が閉園になります。先日もネットモニターと市長の対話フォーラムの中で、子供の数が減少してきたときに、場所により公立幼稚園から統廃合していくという回答をされていたのですが、平成33年度の奥の池幼稚園閉園以降の見通しは、今現在ありますか。

(浜本総務部長)

今のところはまだありません。

(山本委員)

方向性としては、市長が言われたように子供の数が減っていけばということですか。

(浜本総務部長)

そうですね。状況を見ながら対応していくことになろうかと思えますけれども、済みませんがこの場ではお答えができません。

(山本委員)

現場におられる方は、今後どうなっていくだろうということに対して大変大きな不安を持っておられます。要望を出していくにしても、先の見通しがつかない中では、なかなか要望が立てられないということもあるので、もし今後の見通しが出てきたら、いろいろな形の中でまた明らかにさせていただくことも大事なのかなと思います。よろしく願います。

(雪村教育長)

教第36号議案の幼稚園の件についてはよろしいですか。

(5名の賛成により可決)

(雪村教育長)

ありがとうございました。

では、報告事項2についてお願いします。

## **報告事項2** 指定管理者制度導入施設の管理運営に対する評価（平成28年度）及び次期指定管理者の選定（平成30年度業務開始）について

(仲田教育企画担当課長)

報告事項2の指定管理者導入施設の管理運営に関する昨年度の運営の評価と、来年度からの次期指定管理者の選定について御報告します。



資料の1ページが、平成28年度の各施設の管理運営に対する評価の状況です。AAAが提案を大幅に上回っている、AAがやや上回っている、Aがほぼ提案どおり、Bがやや下回っている、Cが提案内容を大幅に下回っているということで、提案内容と比してどうかという視点での評価です。

平成28年度はAAが16施設、Aが7施設、Bの評価が1施設だったので、AAは前年度より3施設減り、Aが3施設ふえて、Bが1施設ふえたという状況です。

変わったところを御説明します。まず評価が上がったところですが、東灘図書館が昨年のAからAAに上がっています。昨年度は提案内容のうち未実施項目が多かったのですが、平成28年度は52項目全て実施ということで、このあたりも評価されてのAAとなっています。

また、AAからAに評価が下がったところについてですが、まずラインの館については、平成28年度は耐震工事のために通年閉館していますので、なかなか評価が難しいということでのA評価になっています。あと、自然の家についてもAAからAになっています。昨年度は目標の利用者数を上回っていたのですが、今年度は学校利用の減が響いて92%程度にとどまっていますので、Aの評価です。三宮図書館については、指定管理者の職員による不祥事ですが、図書カードの不正利用、一度に10冊以上借りていたといった不正貸し出しも考慮してのAとなっています。風見鶏の館については昨年度AAだったのですが、ことしは2段階下がってB評価となっています。入館者数が目標の85%程度にとどまったことが提案内容を大きく下回っているという評価で、B評価となっています。また、平成28年度から新たに指定管理を導入した洞川キャンプ場については、A評価となっています。

以上が7月5日に開催した指定管理者の選定評価委員会で評価をいただいたものです。

続いて、2の次期指定管理者の選定についてです。こちらは応募を9月初旬に締め切りました。今回は10施設、10事業者を新たに指定管理者に指定しますが、三宮図書館については移転の話がありますので、現指定管理者を継続するという事で公募外としています。残りの9施設については、5施設が複数の事業者から手が挙がり、残りの4施設については、1社からのみ手が挙がっているという状況になっています。生涯学習支援センターと下から2つ目の須磨図書館については、前は1事業者のみの応募でしたが、今回は複数の事業者から手を挙げていただいています。全施設とも現行の指定管理者に手を挙げていただいています。

2ページが選定のスケジュールということで、今月25日に選定評価委員会を開いて事業者からのヒアリングを行います。その後、来月6日の選定評価委員会で候補者を決定していくという段取りになっています。

御説明は以上です。

(雪村教育長)

指定管理者についていかがでしょうか。

(今井委員)

1年間の管理運営に対する評価結果が出ていますが、これは利用者の満足度も反映されているのですか。

(仲田教育企画担当課長)

評価の際にはそれも考慮しています。スポット的に、やや満足、満足などそういう評価をとり、その分布を報告して、それも評価の際には一定活用いただいています。

(今井委員)

それはアンケートか何かとっているのですか。

(仲田教育企画担当課長)

館内利用者アンケートを実施しています。

(今井委員)

図書館は市民の声でも職員の対応が悪いというようなことを書かれているので、そういう声も反映されているのかなと思いました。

(仲田教育企画担当課長)

そうですね。やはり不満のお声が市民の声で上がってきますが、全体のアンケートとしては満足、やや満足で9割を占める場合が多いです。

(山本委員)

評価結果について、去年と比べられていましたが、この評価が始まったのは去年からですか。

(仲田教育企画担当課長)

いいえ、指定管理者制度が導入されたときからですので、平成17年度ころからです。

(山本委員)

平成17年度からですか。

(仲田教育企画担当課長)

毎年、行財政局が全局分をまとめて公表しています。

(山本委員)

そうすると、その評価がずっとよければ、それなりのインセンティブがありますか。

(仲田教育企画担当課長)

インセンティブとして、次の指定管理者の選定の際に、前回の指定管理の中で、AAやAAAを続けた場合など、一定の条件を満たせば加点を行っています。

(山本委員)

逆にマイナスだと減点ということになりますか。

(仲田教育企画担当課長)

そうです。B評価が2年続いたり、C評価を受けたりするとマイナスの評価になります。

(今井委員)

次期指定管理者選定の応募状況で、1社しか出ていないところもあり、多くても2社となっていますが、やはりいろいろな人が手を挙げてこそ中身もよりよくなっていくのかなという気がします。なかなか応募者が集まらないのは、費用的に見合わないからですか。それともほかに何かありますか。

(仲田教育企画担当課長)

費用が見合わなければ、現指定管理者も手が挙がりにくいと思います。指定管理制度を導入して、1回目、2回目の応募のときは事業者が手を挙げたかと思いますが、やはり提案内容で勝ちにくいから固定化してきているのではないかなと思っています。

一方で、生涯学習支援センターでは、前は競合がなかったところを、今回は関東で市民センターや勤労会館などの運営実績がある事業者から応募いただいております。地区を飛び越えて新たな事業者に手を挙げていただいております。

(雪村教育長)

そのほか、確認はよろしいですか。

(「はい」の声あり)

(雪村教育長)

ありがとうございました。

それでは、ここで教育委員会会議は閉会させていただきます。

閉会 : 午後 3 時15分